

【スーパーマルパスDX】—新日本石油—

工作機械用多目的潤滑油（軸受・歯車・油圧・摺動面）

1. ISO VG 2~460までのラインナップ。
2. 油種の統合による管理油種の削減・管理スペースの削減
3. 特徴：専用油に匹敵する高性能が自慢です。
4. 特長：高性能で安価、最短日数でお届け“お薦め”です。
- 5・荷姿：20L缶、200L缶



「高崎物語」 15

講義を終えて下宿に戻り、自転車置き場に愛車のスタンドを立てていると

「佐藤さん、手紙がきていますよ」と、お母さんにも頼まれたのか小学生の知香ちゃんが背後から声をかけてきた。

「知香ちゃん、ありがとう」

白い封筒を受け取り裏表紙に目を落とすと、そこには見慣れぬ字体で住所と女性の名前が書いてあった。

木賃宿で出会い、小学校のブランコの上で陽が上がるまで話合った聡子からだった。

聡子は、同じ福島県人で東京の短大に通う学生だった。同県人の誼からなのか、下宿を訪問するから高崎市内を案内して欲しいという文面だった。また、その日は下宿に泊めてもらいたいとも書いてあった。

手紙を読みながら、わたしは考え込んでしまった。この下宿に女性が泊まるなんて前代未聞のこと

『桑の葉』

とだったし、大家さんから布団も借りなければならなかったし、嬉しきよりも戸惑いの方が大きかった。

そんな戸惑いをよそに、週末に聡子はやってきた。高崎市の観光の定番でもある百尺観音を見学し、市内を散策したあと堀端の喫茶店で二人の時間を楽しんだ。

大家さんの好意で一緒に夕飯をとった後、大学を見学したいという聡子とふたりで、榛名山に沈む夕日を見ながら下宿を出た。桑の葉が背丈まで伸びていた。

大学を一周し、烏川の堤防から浅間山の雄姿を眺める頃には、頭上の月があたりを照らしていた。

私たちは、まるで数年前からの恋人同士のように肩を寄せ合い手をつなぎ、桑畑の細い道を歩いた。映画のワンシーンのようにロマンチックな夜だった。

いつの間にか、私は聡子を抱き寄せていた。そのとき、突然桑の葉が動いた。「誰だ！」出てきたのは私たちの後をつけていた下宿の下級生達だった。・・・バカ

☆ あとがき ☆



2001年に現在の家を建てたとき、妻が記念にと購入した“侘助”が今年も庭の片隅でピンクの可憐な花を咲かせています。

“侘助”という名は、茶人の笠原侘助が好んで茶室に置いたからというが、厳冬の中で凛として咲いている姿は見るものに感動を与えます。

わたしも、小さくてもいい凛とした企業に育てたいと考えています。